レポートおよびその周辺の建築等ルール見直し案
パブリックコメント資料の修正

公表期間中に、以下の点について記載の誤り・表現の修正を行いました。

修正日	資料名(ファイル名)	ページ 番号	該当項目	修正箇所	
				旧	新
2023年1月30日	【資料2】景観地区・特定用途制限地域ルール一覧(原案)	1	建築物の形態意匠の制限 (外観の色彩)	1 色彩はマンセル表色系において下表のとおりとする。ただし、次の各号のいずれかに該当する部分については、この限りでない。なお、色相、明度及び彩度の色彩に関する表示については、日本工業規格Z8721に定められた規格とす 【以降、文章途切れ】	1 色彩はマンセル表色系において下表のとおりとする。ただし、次の各号のいずれかに該当する部分については、この限りでない。なお、色相、明度及び彩度の色彩に関する表示については、日本工業規格Z8721に定められた規格とする。
2023年1月30日	【資料2】景観地区・特定用途制限地域ルール一覧(原案)	4	造成の制限 (1)盛土・切土の形状 ・擁壁	①5分以上の勾配を確保し、周囲の風景に配慮した表面処理を行うものは5mを上限とする。特に、道路からの視認性の高い場所に設 【以降、文章途切れ】	①5分以上の勾配を確保し、周囲の風景に配慮した表面処理を行うものは5mを上限とする。特に、道路からの視認性の高い場所に設置するものは緑化する。
2023年1月30日	【資料2】景観地区・特定用途制限地域ルール一覧(原案)	4	造成の制限 (1)盛土・切土の形状 ・擁壁	②ドライエリアや地下駐車場へのアプローチ、その他景観への影響が無いもの。ただし、地下駐車場へのアプローチについては、道路 【以降、文章途切れ】	②ドライエリアや地下駐車場へのアプローチ、その他景観への影響が無いもの。ただし、地下駐車場へのアプローチについては、道路から容易に視認できる場合には、周囲の風景に配慮した表面処理を行うこと。
2023年1月30日	【資料2】景観地区・特定用途制限地域ルール一覧(原案)	4	造成の制限 (3)無電柱化の整備	9 無電柱化に伴う地上機器等の電気設備は、国道、道道及び町道からの視界に入らない位置または、建築物内に収める等の対応と 【以降、文章途切れ】	無電柱化に伴う地上機器等の電気設備は、国道、道道及び町道からの視界に入らない位置または、建築物内に収める等の対応とする。
2023年1月30日	【資料2】景観地区・特定用途制限地域ルール一覧(原案)	5	広場等の確保 (1)3,000㎡以上の開発行為 ・宅地分譲	①広場は各区画から容易にアクセスできる位置とし、道路除雪の一時堆雪、災害時の避難場所の機能を確保できる形状、しつらえとす 【以降、文章途切れ】	①広場は各区画から容易にアクセスできる位置とし、道路除雪の一時堆雪、災害時の避難場所の機能を確保できる形状、しつらえとすること。
2023年1月30日	【資料2】景観地区・特定用途制限地域ルール一覧(原案)	5	広場等の確保 (2)建築行為	ローワービレッジ地区及び敷地330㎡未満の土地を対象に、一時堆雪等の管理用を兼ね備えたオープンスペース(駐車場、車路、樹木 【以降、文章途切れ】	ローワービレッジ地区及び敷地330㎡未満の土地を対象に、一時堆雪等の管理用を兼ね備えたオープンスペース(駐車場、車路、樹木のある場所は除く)を前面道路側に確保すること。
2023年2月1日	<参考資料2>エリア毎の景観形成の方針とルール	15	景観地区のルール ○ルールの見直しイメージ <開発行為>	緑化30%以上	緑化50%以上
2023年2月1日	<参考資料2>エリア毎の景観形成の方針とルール	16	景観地区のルール ○ルールの見直しイメージ <開発行為>	緑化30%以上	緑化50%以上
2023年2月1日	<参考資料2>エリア毎の景観形成の方針とルール	17	景観地区のルール ○ルールの見直しイメージ <開発行為>	緑化30%以上	緑化50%以上